

68 期 1 学年 江風探究ユニット②（全 2 回）について

「68 期 1 学年 江風探究ユニット 実施計画」（5 月職員会議資料）に基づいて、以下の通り、ユニット②（全 2 回）を実施する。

1 回目（7 月 4 日 LHR70 分）

探究テーマ：「新潟市の課題を発見し、解決策を考えよう！」

日 時：7 月 4 日 7 限 LHR70 分

場 所：各教室

授業者：1 年クラス担任

目 的：生徒の目線で、新潟市の課題を設定させ、さらに解決策まで考えさせることによって、生徒の課題発見力、仮説設定力、考察力、協働性を養う。

内 容：別紙の「探究用ワークシート」に基づいて、新潟市の課題を発見させ、解決策まで考えさせる。

流 れ：説明を 10 分程度行った後、次の①～⑦の手順で探究活動を行う。

- ①日常生活を振り返って、不便な点を列挙する。(10 分)
- ②上記に基づいて「新潟市の課題」を各自で設定する。(10 分) → 5 分でも可
- ③「新潟市の課題」について解決策を考察する。(10 分)
- ④グループ（4～6 名）になって、「新潟市の課題」を共有する。~~(10 分)~~ → 5 分に
- ⑤上記の中から「グループの課題」を 1 つ設定する。(5～10 分) → 5 分に
- ⑥「グループの課題」について話し合い、解決策を作り上げる。(20 分)
- ⑦本時を振り返り、アンケートを記入し、自己評価を行う。(10 分)

2 回目（7 月 24 日（火）4 限）

探究テーマ：「新潟市の課題を発見し、解決策を考えよう！」

日 時：7 月 24 日（火）4 限

場 所：第 1 体育館

目 的：新潟市の担当者による講演会を実施し、新潟市の抱える課題について考えさせることによって、生徒の課題発見力や仮説設定力、考察力等を深めさせる。

内 容：新潟市の担当者が、用意した資料に基づいて、新潟市の抱える課題について講演を行う。全般的な説明の後、「新潟市からの挑戦状」という形で、1 学年生徒全員に、問題提起がなされる。生徒は講演を聴いて、新潟市の課題についてさらに考察を深める。「新潟市からの挑戦状」への回答は、秋以降の探究活動の課題とする。講演会の内容を専用のワークシートにまとめ、振り返りまで行う。ワークシートは翌日の SHR に提出をする。

講演者：新潟市の担当者

※授業のカウントは火曜授業の 4 限の教科科目とする。LHR ではカウントしない。

（授業時間の抛出について、ご理解ご協力をお願いします。）

流れ：説明を 10 分程度行った後、次の①～⑦の手順で探究活動を行う。

- ①日常生活を振り返って、不便な点を列挙する。(10 分)
- ②上記に基づいて「新潟市の課題」を各自で設定する。(10 分) →5 分でもよい
- ③「新潟市の課題」について解決策を考察する。(10 分)
- ④グループ(4～6 名)になって、「新潟市の課題」を共有する。~~(10 分)~~ →5 分
- ⑤上記の中から「グループの課題」を 1 つ設定する。(5～10 分) →5 分
- ⑥「グループの課題」について話し合い、解決策を作り上げる。(20 分)
- ⑦本時を振り返り、アンケートを記入し、自己評価を行う。(10 分)

